

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（長浜地域）第3回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年11月1日（火） 9時30分～11時30分

場 所：湖北合同庁舎一階第一会議室

出席者：今井 克美 委員（公益社団法人長浜観光協会 専務理事）

鹿取 輝之 委員（公募委員）

小林 将来 委員（米原警察署 交通課長）

（代理出席：高岸氏）

田邊 圭一 委員（長浜警察署 交通課長）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学環境科学部 准教授）

丹羽 崇 委員（公募委員）

長谷川 綱雄委員（米原市障害者福祉協会 会長）

水上 敏彦 委員（長浜商工会議所 交通運輸部会 副部会長）

三馬 有子 委員（公募委員）

森 和彦 委員（湖北地域消防本部 警防課長）

横山 義人 委員（長浜市都市建設部 部長）

吉田 忠充 委員（米原市まち整備部 部長）

欠席者：安田 智枝美委員（米原交通安全協会女性部 部長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・座長が挨拶を行った。

（2）第2回地域ワーキングの討議内容の確認について

- ・事務局より第2回地域ワーキングの討議内容について説明を行った。

（3）資料説明「第3回地域ワーキング」

- ・事務局より第3回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見聴取

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声（案）／地域の重点項目（案）について】

- ・地域の重点項目は上手く取りまとめてもらったと思う。
- ・地域の声、重点項目については、今までの議論を踏まえてまとめていただいているので特に意見はない。ソフト面のことも、ハード整備と並行して非常に大事な視点だと思う。定性的な書き方にはなると思うが、何らかの記述をすべきではないかと思う。また、5年間を見通した中で、5年間で完了するところと着手するところ、調査段階のものもあると思うので、色付けなど表現わかるようにしてもらいたい。
- ・地域の声の4項目はまとまっていると思う。
- ・地域の声のとりまとめ、うまくまとまっていると思う。整備については維持管理が整うような形での精度の高い整備を望む。
- ・地域住民は自分の住んでいる地域がどれくらい良くなるか、地域の声よりどこが選定されているのかが気になると思う。別紙の評価基準に基づいて選考されているが、理解するのは難しい。優先順位があるのは分かるが、どう地域の声に基づいて選んだのかが分かりやすい形で掲載できればと思う。
- ・地域の声、地域の重点項目については特に意見はない。事業を進めていただいているところは、今後もスムーズな事業進捗をお願いしたい。

① 災害に強い道路網の整備／災害に強い道路整備

- ・特に雪では、去年は彦根から米原で雪害があった。具体的な事業箇所については、ローザンベリー多和田前の道路などで立ち往生するトラックがいたと聞いたが、工事で勾配もなだらかになると聞いたので反映されると思う。
- ・大雪が降った時の場合には道路整備だけで対応できるのか不安がある。除雪を優先的にする順番や、融雪方法など、どういう対応をしていくかまでは踏み込まないのか。
- ・消防としては、アクセス道路が増えるとありがたい。複数の迂回路があればと思う。計画がちゃんと進めば良いと思う。
- ・全般にわたって歩道の除雪できるかというのは体制が難しいところがある。維持管理のしやすい歩道整備をお願いしたい。
- ・防災と並行して減災の考え方も必要。昔土砂崩れを起こした箇所や、河川整備が必要などころもあると思う。そういう付近にある道路が本当にこれで良いのか検討をしてもらいたい。

② 安全・安心を確かにする道路空間の整備／安全・安心な道路空間の整備

- ・障害者の立場では、歩道整備が一番肝心である。すべての障害者に対応しようとするとならぬ資金がかかるし、目、耳、身体障害などで必要な整備も違うが、交差点改良には音響信号が絶対必要なのでお願いしたい。また、歩道が広ければ広いほど通りやすくなるので、考えてもらいたい。できるだけ凸凹のない、スムーズに通れる道路を。障害者が絶対に通らない道路はないので、色々な可能性を踏まえた道路整備をお願いしたい。

- ・下校時に子どもが集団で帰っている時、信号があると止まるが信号のない交差点では危ないところもある。通学路の表示で事故を回避する対策をお願いしたい。

③ 地域の活性化を支える拠点間を結ぶ道路の整備／拠点間を結ぶ道路整備

- ・(仮称) 神田スマートインターの連結が許可されて報道された。県ではアクセス道路としてバイパス道路に取り組むということで、高速から降りる方の集落内への誘導を避けるための整備を進めている。交通拠点としての役割を果たしていけるのではないかと思う。地域の盛り上がりの一助になると思う。
- ・ローザンベリー前の事業も進めていただいているが、懸念として、米原ICからローザンベリーまでの間で大きなネックのポイントがいくつかある。点線になっている部分の先線、先が見通せていない。

④ 観光を軸とし地域活力に繋げる道路の整備／観光を支援する道路整備

- ・南部と北部を比べると人口減少対策の差が大きい。観光軸への道路整備は観光振興に対する一助になると思う。

【その他について】

- ・時代は進んでおり、過疎化した地域に大きな道路を作って何になるのか。アクションプログラムは5年と決まっているので、5年で完了できる計画にしてほしい。10年経つと現地は大きく変わる。そういうことにならないような計画を作らないと、実際利用を始めたら利用者がいないようでは困る。
- ・客観的評価マニュアルで評価した際に、ランクが同じになる路線が増えるのではないか。ランクが同じ中での優先順位、総合的な判断とも言っていたが、実際にアクションプログラムに載せる路線数は制限があるのか。